

宮崎市上下水道局

令和7年度当初予算概要

【水道事業・公共下水道事業】

みやざき水ビジョン（2025-2034）

『安全・安心』で『強靱』な上下水道を未来のみやざきへ
～時代の変化を見据えて進化し、持続可能なサービスを！～

安全

強靱

持続

進化

めざすべき4つの方向性

宮崎市上下水道局



令和7年度当初予算案のポイント

みやざき水ビジョン（2025-2034）を踏まえた予算編成を実施

《基本理念》

『安全・安心』で『強靱』な上下水道を未来のみやざきへ
～時代の変化を見据えて進化し、持続可能なサービスを！～

めざすべき4つの方向性と取組内容

- ・ 水質管理を徹底した
安全な水の供給
- ・ 放流水の水質管理

安全

- ・ 施設の更新・耐震化
- ・ 漏水対策の推進
- ・ 下水道施設の老朽化対策
- ・ 浸水対策の推進

強靱

- ・ 人材育成と技術
継承の推進
- ・ 官民連携の推進
- ・ 経営体力の強化

持続

進化

- ・ DXの推進
- ・ GXの推進

めざすべき
4つの方向性

《令和7年度当初予算案》

水道管・耐震化事業（幹線管路・
生目台送水管・経年管の更新）

14億8,170万円

下水道施設の耐震・耐津波化事業

12億8,200万円

《令和7年度当初予算案》

GX事業（大淀処理場主ポンプ
改築工事など）

2億9,620万円

【水道事業】 当初予算案の概要 対前年度比較

●収益的収支

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
収益的収入 A	9,155	8,425	730	8.7%
収益的支出 B	8,420	8,237	183	2.2%
差引 A - B	735	188	547	—

《主な増減理由》

収益的収入： 料金改定に伴い給水収益が増加したことより7億3,000万円増加。

収益的支出： 委託料や消費税及び地方消費税の増加により1億8,300万円増加。

●資本的収支

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
資本的収入 A	1,956	2,119	▲163	▲7.7%
資本的支出 B	6,622	6,267	355	5.7%
差引 A - B	▲4,666	▲4,148	← (収支不足額は損益勘定留保資金等で補てん)	

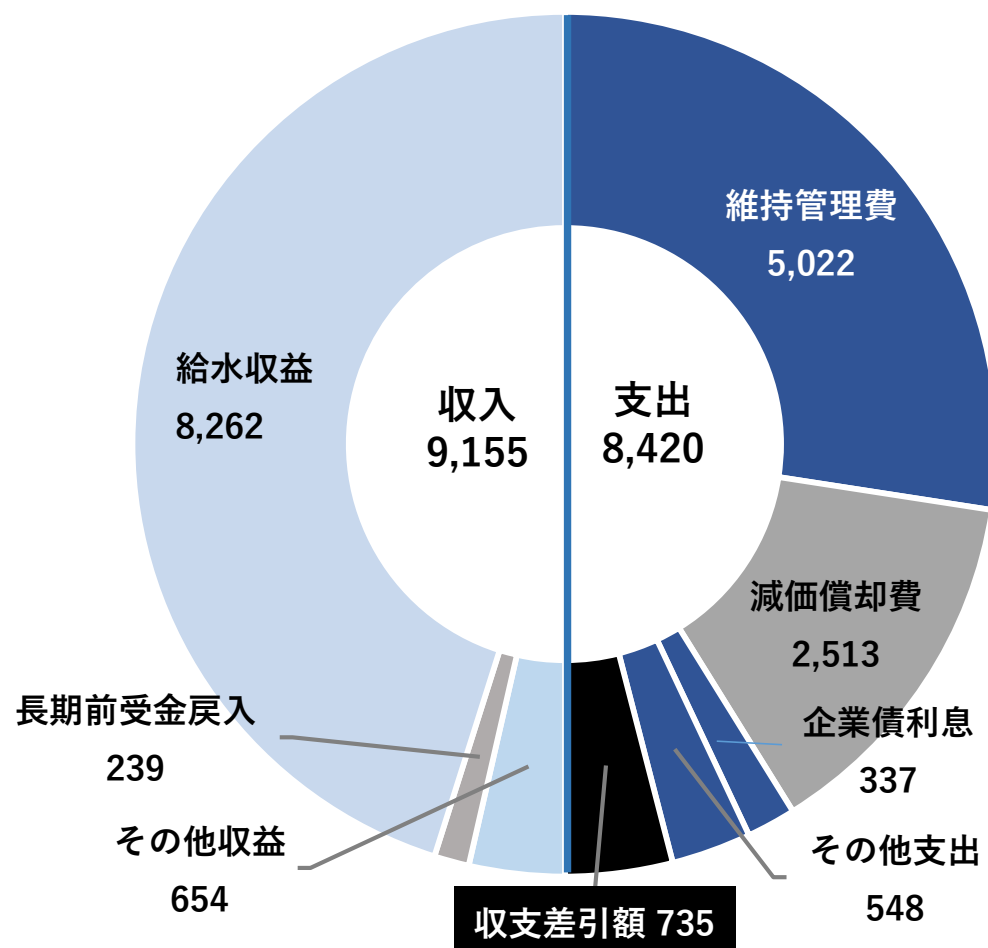
《主な増減理由》

資本的支出： 建設改良事業において「【継続費】下北方浄水場脱水処理施設整備事業」の期間延長などにより3億5,500万円増加。

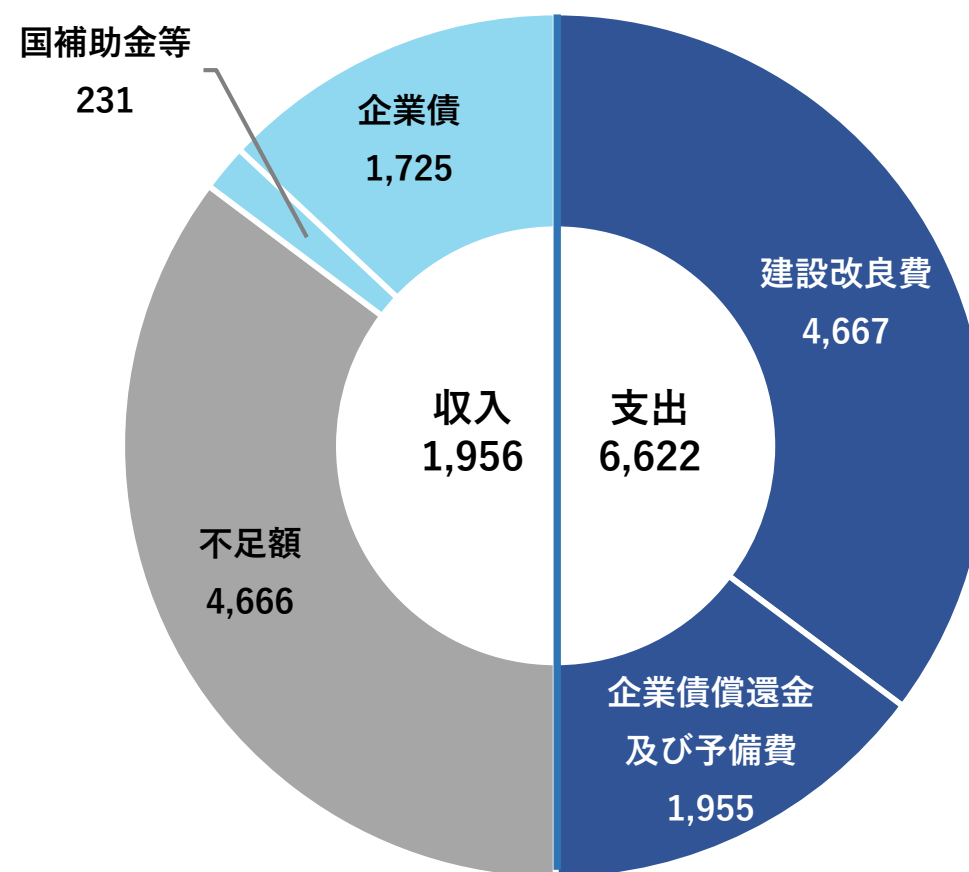
【水道事業】 収益的収支・資本的収支の内訳

(単位：百万円)

収益的収支



資本的収支



資本的収支の不足額は損益勘定
留保資金等で補てん

【水道事業】みやざき水ビジョン 計画期間 R7-R16 主要事業

(単位：百万円)

事業名 (水ビジョン掲載期間)		事業内容 (期間中実施予定)	R7年度 予算額
①	下北方浄水場大規模改修事業 (R7～R16)	新系浄水施設は、令和3年度に完成。現在は「脱水処理施設整備事業」に着手し、令和7年度の完成を目指す。	847
②	柏田水源地更新事業 (R7～R15)	柏田水源地（取水施設）を災害に強い施設へ更新を行う。	726
③	下北方配水池整備事業 (R7～R11)	災害時などの長期的な断水被害の軽減や安定した水道水を供給するために、耐震性を有した配水池へ更新を行う。	6
④	富吉浄水場更新事業 (R7～R16)	富吉浄水場の浄水施設のうち耐震性がない浄水池の更新を行う。	385
⑤	富吉水源地更新事業 (R7～R16)	富吉水源地（取水施設）を災害に強い施設へ更新を行う。	8
⑥	生目台送水管更新事業 (R7～R16)	災害時にも安定して浄水を送り続けるために、富吉浄水場から生目台配水池へ送る送水管の更新を行う。	60
⑦	幹線管路耐震化事業 (R7～R16)	災害時における水道機能を確保するために、市内中心部を巡る環状ルート及び南部・東西ルートの幹線配水管の耐震化に取り組む。	440
⑧	経年管更新事業 (R7～R16)	耐用年数が経過した経年管の更新を計画的に行い、耐震性の向上と災害時の重要施設への安定供給を図る。	982

【水道事業】 主な実施事業

①下北方浄水場大規模改修事業 (下北方浄水場脱水処理施設整備事業)

強靱

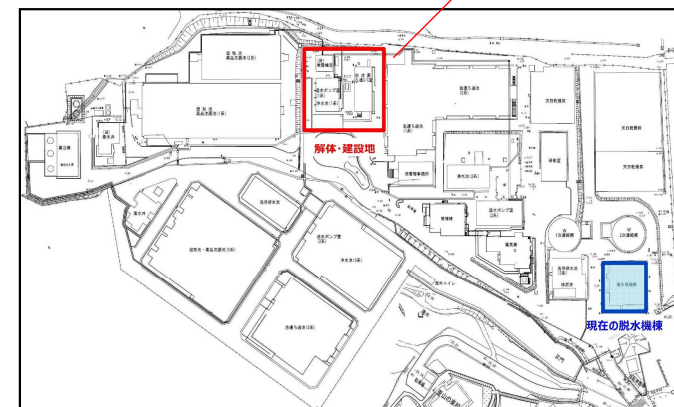
令和3年度に新系浄水施設が完成。令和元年度から耐震性能がなく老朽化が著しい脱水処理施設（浄水汚泥を脱水処理する施設）やその電気・機械などの整備に着手し、令和7年度の完成を目指す。

◆脱水処理施設整備	継続費補正についてはP26参照
継続費（R1～R7：23億3,514万円）	7億4,279万円
◆下北方浄水場PAS・高圧ケーブル更新	2,300万円
◆下北方浄水場2系6号ろ過池原水弁外更新工事	3,000万円
◆中央監視設備機能増設工事 等	5,112万円
計 8億4,691万円	

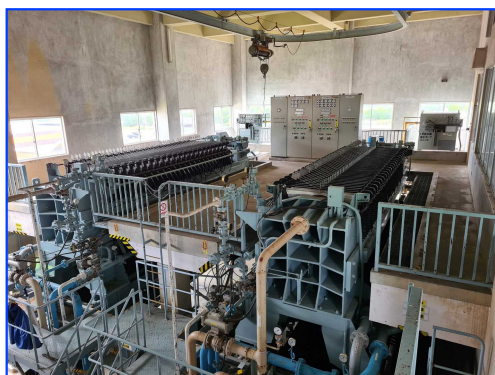
ポンプ室（解体後）



脱水処理施設棟（建設中）



下北方浄水場平面図



既存脱水機

更新



新規脱水機

【水道事業】 主な実施事業

② 柏田水源地更新事業

大淀川から取水した原水を下北方浄水場へ送る取水施設の更新事業。

令和5年度から継続費として、活性炭棟更新工事（電気・機械含む）に着手し、令和7年度の完成を目指す。

令和8年度から、旧電気室跡地に取水ポンプ棟や旧取水口を上流に更新する工事を行う予定。（R11完了予定）

◆ 継続費（R5～R7：14億602万円）

- ・ 受変電自家発電機設備更新工事
- ・ 活性炭注入設備更新工事
- ・ 中央監視設備機能増設工事

7億602万円

2億9,653万円

2億6,829万円

1億4,120万円

◆ 場内整備工事 等

2,023万円

計 7億2,625万円

強靱

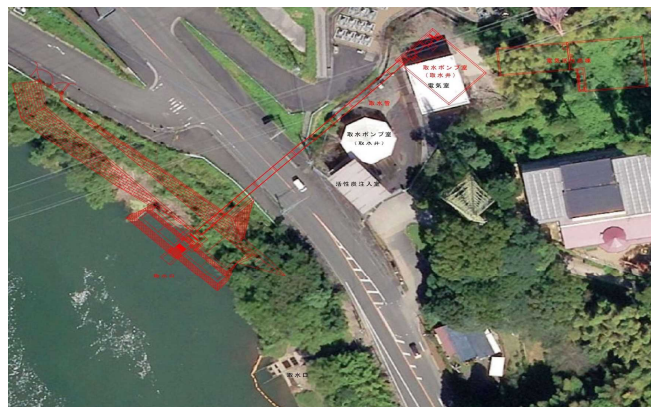
受変電設備を更新



自家発電機設備を更新



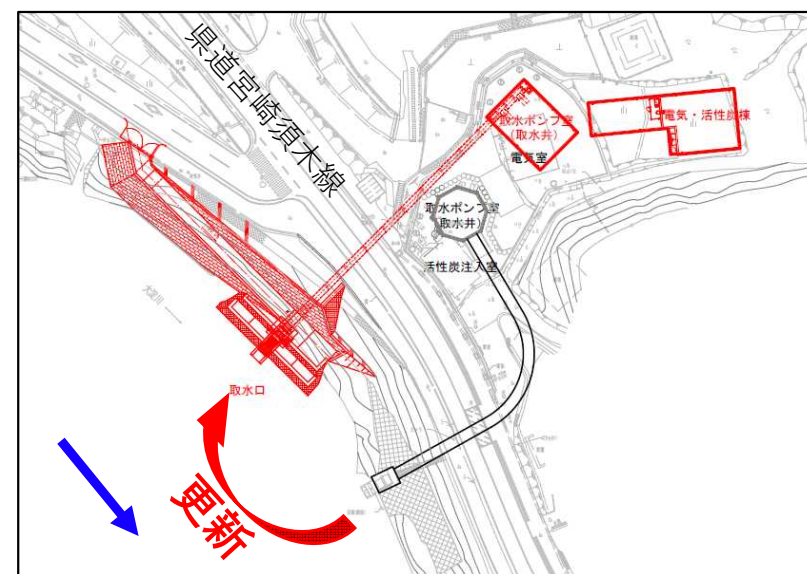
電気・活性炭棟更新工事



柏田水源地（航空写真）



柏田水源地取水口



柏田水源地平面図

【水道事業】 主な実施事業

③下北方配水池整備事業

強靱

下北方配水池は6池あり、No.6池（S7）は老朽化とともに耐震性がない。隣接地に新たな配水池（ $V=8,000\text{m}^3$ ）を構築し、災害時などの長期的な断水被害の軽減を図る。

令和7年度は、都市公園区域除外に必要な面積を確定するため、用地測量業務委託などを実施。

◆用地測量業務委託

600万円

◆不動産鑑定評価業務委託

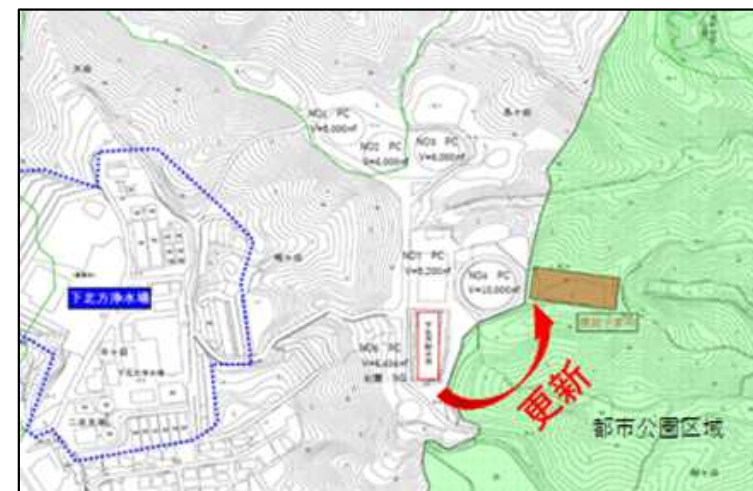
40万円

計 640万円

		貯 留 実 容 量			
名 称		H29まで		現 状	今 後
No.1	5,000 m^3	4,610 m^3		4,610 m^3	4,610 m^3
No.2	6,000 m^3	5,531 m^3		5,531 m^3	5,531 m^3
No.3	6,000 m^3	5,531 m^3		5,531 m^3	5,531 m^3
No.4	10,000 m^3	9,221 m^3		9,221 m^3	9,221 m^3
No.5	1,500 m^3	1,380 m^3		-	-
No.6	6,434 m^3	4,647 m^3		4,647 m^3	-
No.6	8,000 m^3	-		-	7,400 m^3
No.7	5,200 m^3	4,793 m^3		4,793 m^3	4,793 m^3
計		35,713 m^3		34,333 m^3	37,086 m^3
平常時の貯留時間		9.5時間		9.1時間	9.8時間

※水道施設設計指針より計画一日最大給水量の12時間分（ $3,750\text{m}^3/\text{時間}$ ）が標準

下北方NO.6配水池



新設配水池建設予定地

【水道事業】 主な実施事業

④富吉浄水場更新事業

強靱

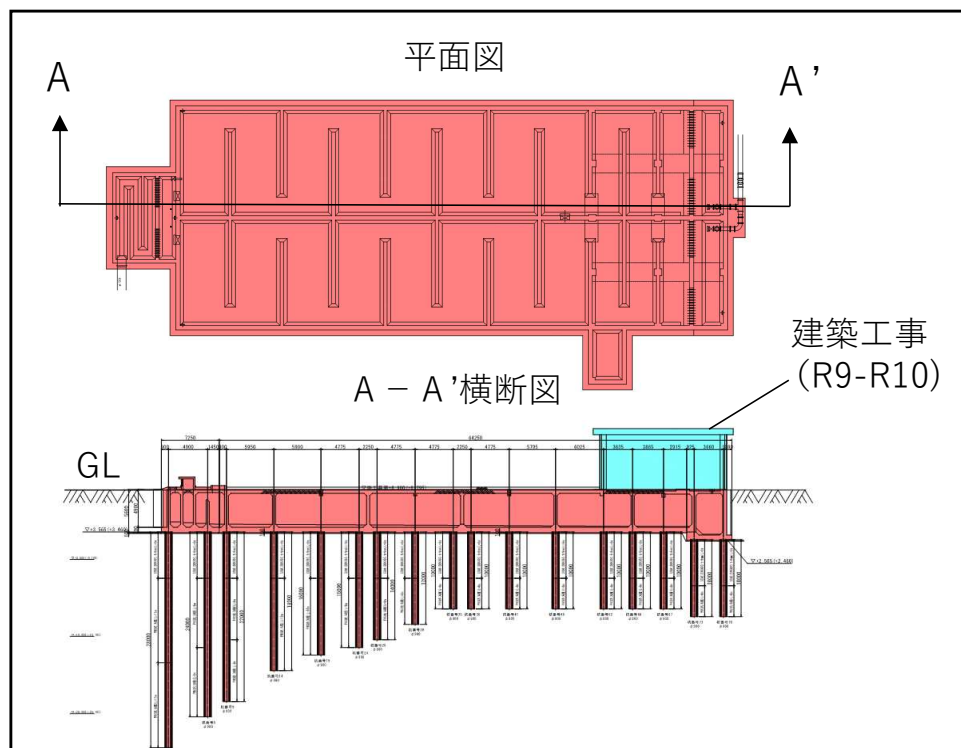
令和5年度に浄水場の耐震補強（沈でん池、ろ過池など）が完成し、令和6年度から耐震性がない浄水池（ $V = 4,500\text{m}^3$ ）の更新工事に着手している。

令和7年度から地下構造物となる躯体工事を進めながら、順次、施設設備（建築・電気・機械など）更新工事を実施。（R11完了）

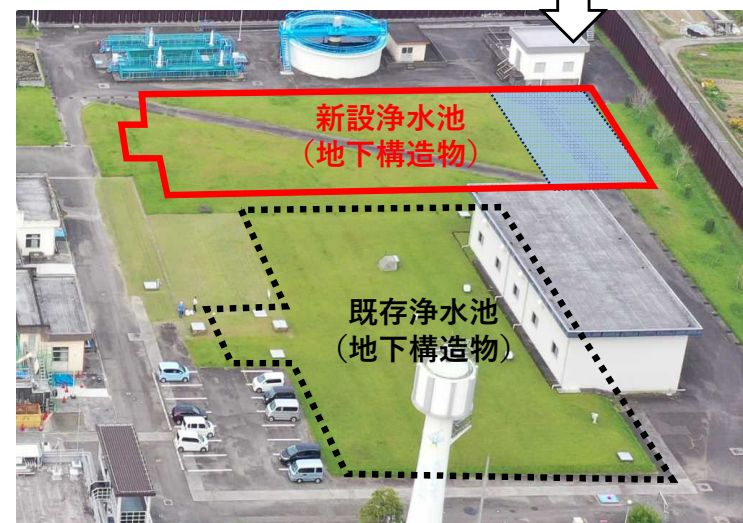
◆浄水池躯体工事

継続費（R7～R10 16億円）

3億8,500万円



富吉浄水場全体図



拡大図

【水道事業】 主な実施事業

⑤富吉水源地更新事業

強靱

大淀川から取水した原水を富吉浄水場へ送る取水施設の更新事業。

昭和54年に構築され耐震性がないことや建設当時から河川形状が変化し、取水水位の低下や大雨後の土砂堆積、その堆積除去作業に大きな課題。旧取水口を下流への更新工事（電気・機械含む）を実施予定。

令和7年度は、施設の建設に必要な用地取得に向けて、測量業務委託を実施。

◆用地測量業務委託

800万円



正門から電気室



取水口



取水ポンプ室

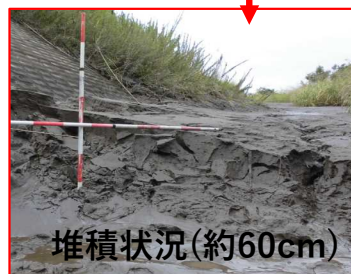


活性炭注入室

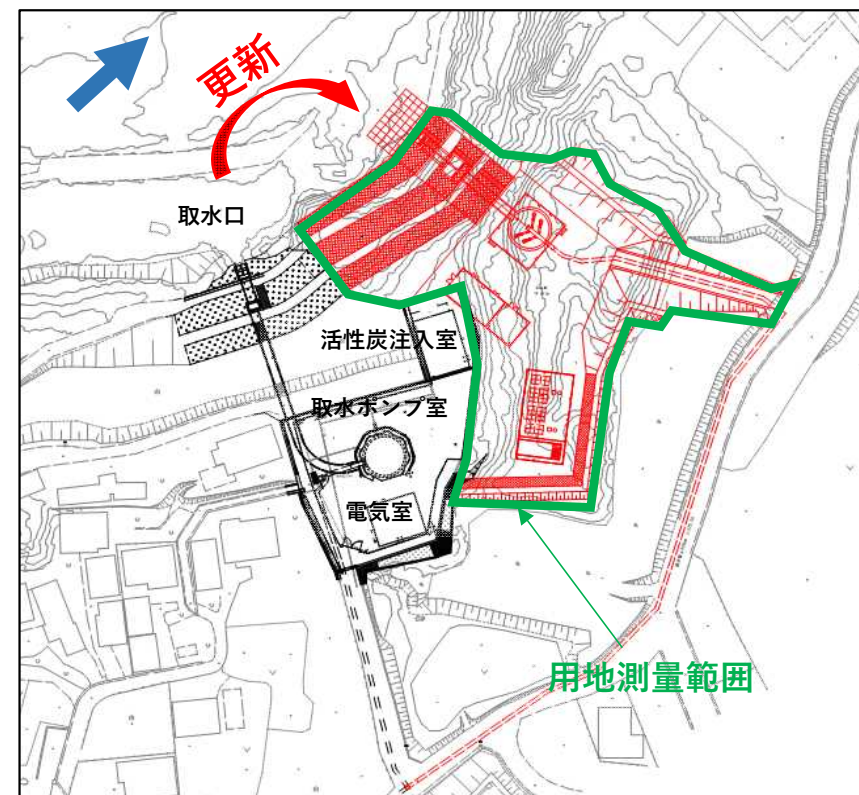
通常時取水口



令和4年9月撮影(台風14号)



堆積状況(約60cm)



富吉水源地平面図

【水道事業】 主な実施事業

⑥生目台送水管更新事業

強靱

(既設管) 口径：1,000mm

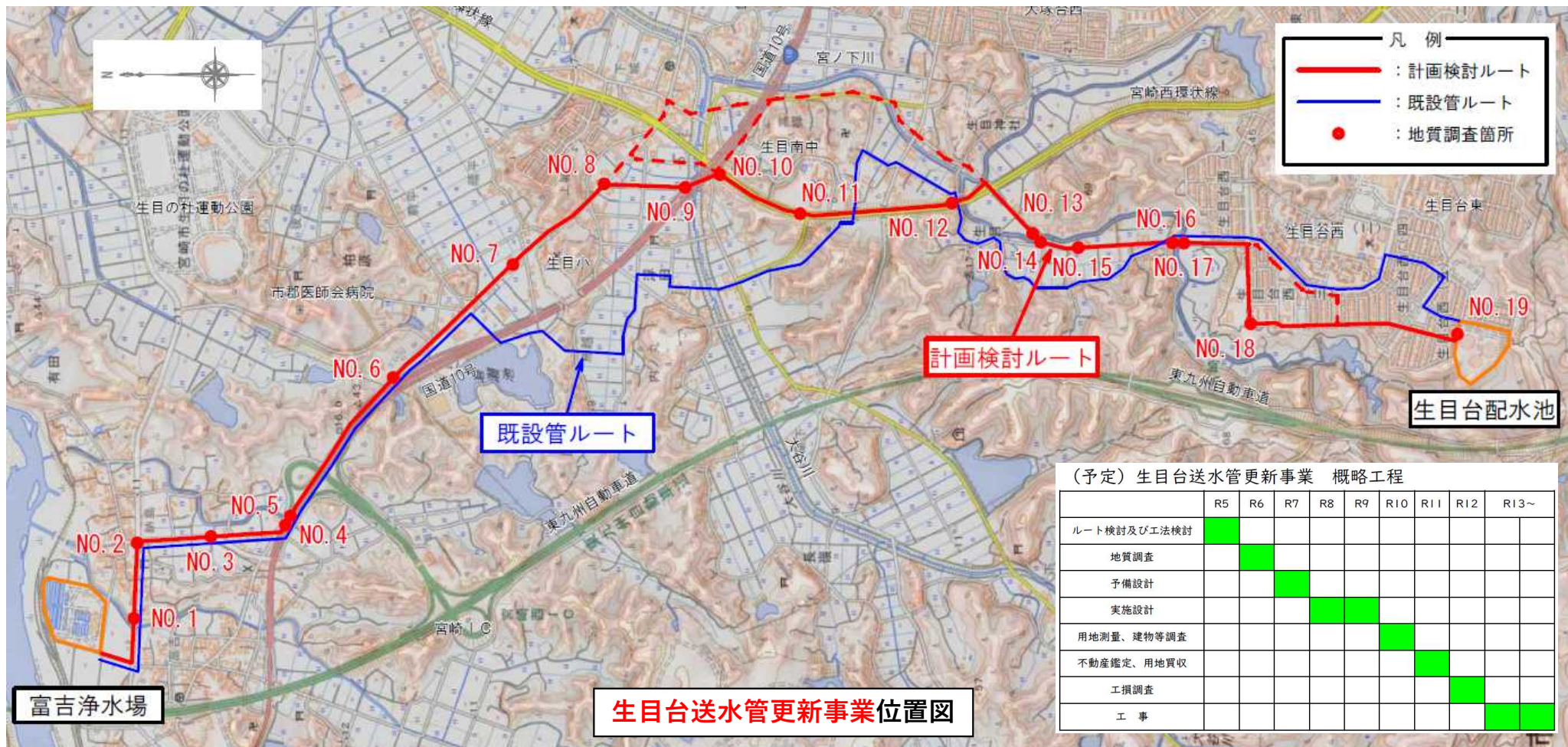
延長：約7.6km

昭和54年に布設した送水管の更新工事。令和13年度の工事着手に向け、令和7年度は地質調査等の結果に基づき、送水管のルートや工法決定のため、予備設計業務を実施。

令和８年度以降には実施設計や用地測量、工損調査等を行う予定。

◆予備設計業務委託

6,000万円



	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
ルート検討及び工法検討									
地質調査									
予備設計									
実施設計									
用地測量、建物等調査									
不動産鑑定、用地買収									
工損調査									
工事									

【水道事業】 主な実施事業

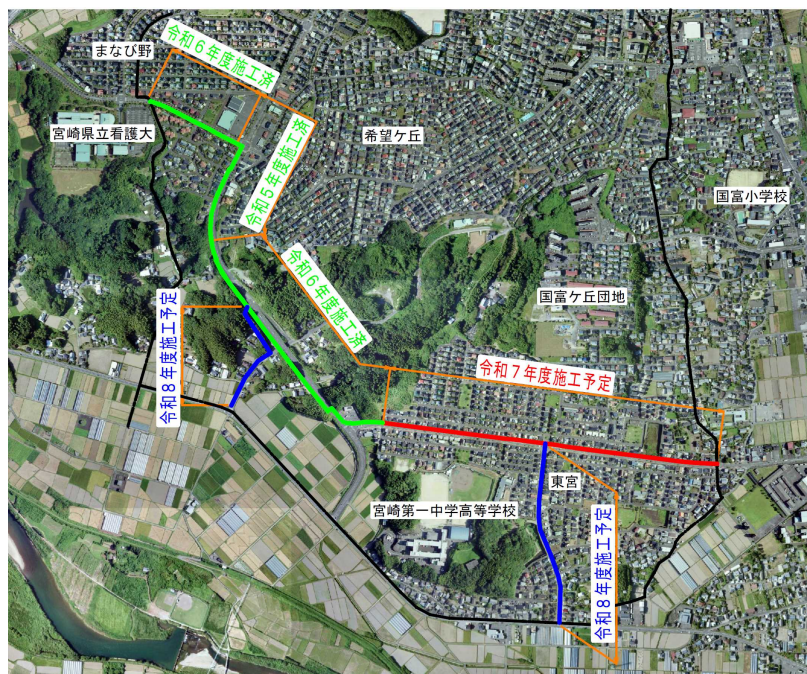
⑦ 幹線管路耐震化事業(配水管整備)

強靱

東宮地区の耐震化は令和8年度で完了予定。次年度以降に向けて生目台から城ヶ崎までの設計業務に取り組み、幹線管路の東西路線に着手。

◆ 幹線管路配水管布設替工事ほか

4億3,980万円



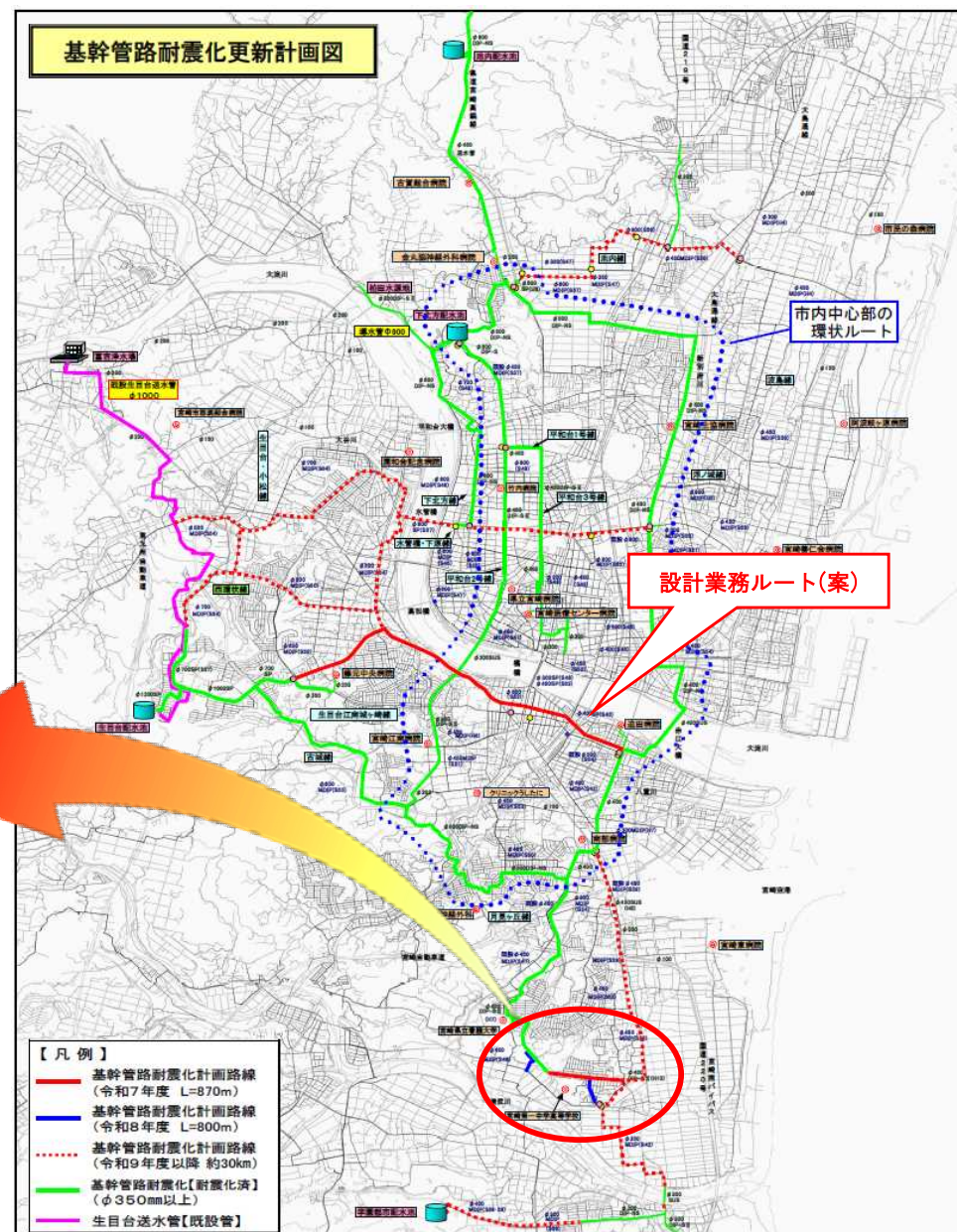
⑧ 経年管更新事業

強靱

経年化が進む水道管を計画的に更新し、管路の耐震性の向上を図るとともに、救急告示施設等への安定供給を図る。

◆ 配水管布設替工事ほか

9億8,190万円



【水道事業】 主な実施事業

●佐土原町上水道施設統廃合

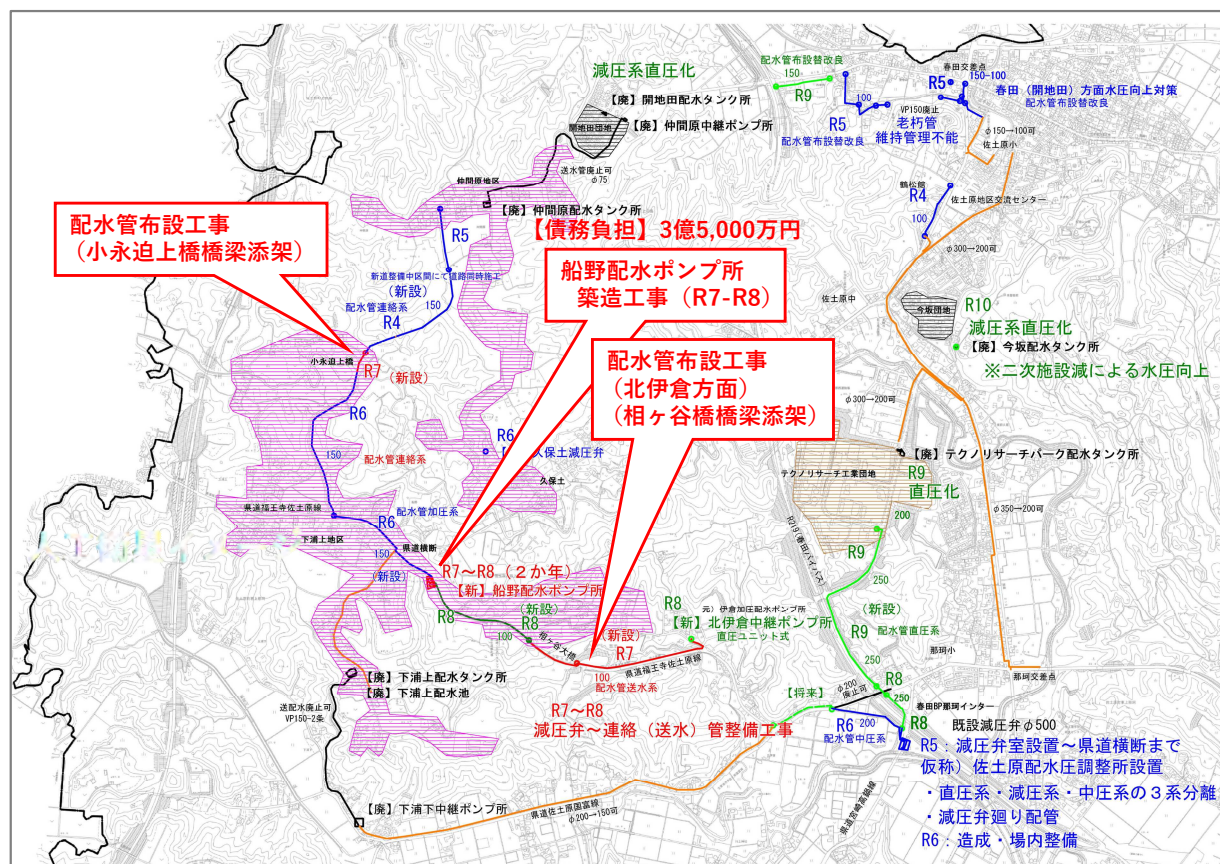
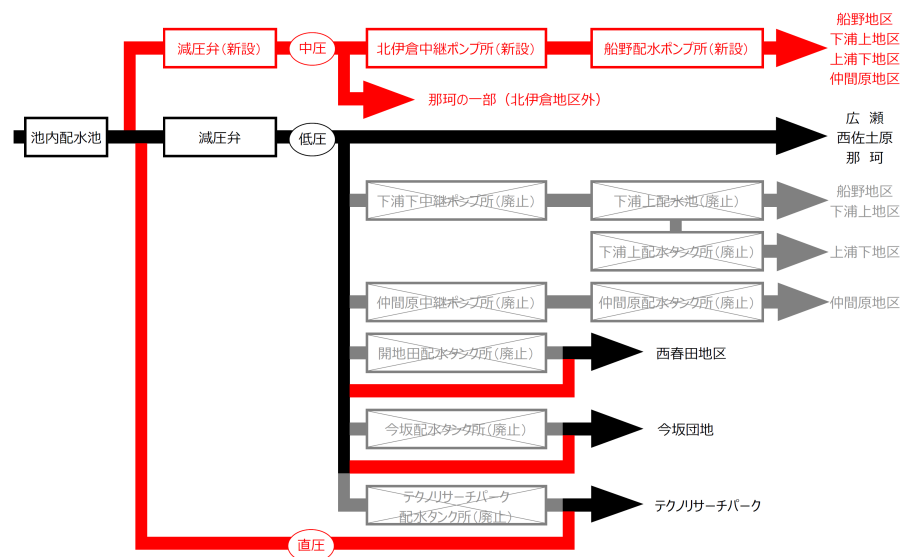
進化

G X

更新が必要な二次配水施設の統廃合により建設・維持管理コストの縮減及び災害に強いライフラインを構築する。現在の二次配水施設数8箇所は令和10年度までに2箇所となる。

(貯留容量 $474\text{m}^3 \Rightarrow 252\text{m}^3$)

1億8,400万円



項目	単位	現状 【R5年度】	将来 【R10年度】	年間削減量	年間 削減率
電力使用量	kWh	156,552	約 63,000	約 93,552	約60%
電力料	千円	3,234	約 1,300	約 1,934	
CO ₂ 排出量換算	t	68.6	約 27.6	約 41.0	

【水道事業】 主な実施事業

●配水管等の維持管理に関する取組

強靱

進化

D X

◆漏水調査業務委託

事後保全から予防保全へシフト！

- ・地表に表れない不表現漏水を探索し、早期修繕を行うことで突発事故を防止するとともに有収率向上を目指す。

人工衛星、A I 活用による調査

2,009万円

従来の路面音聴による調査

1,241万円

計 3,250万円

◆配水管修繕等業務委託

- ・包括委託により、配水管等の円滑な維持管理を行う。
委託期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
受託者：宮崎管工事協同組合

導・送・配水管等の修繕等

3億8,218万円

消火栓修繕

1,485万円

道路舗装復旧

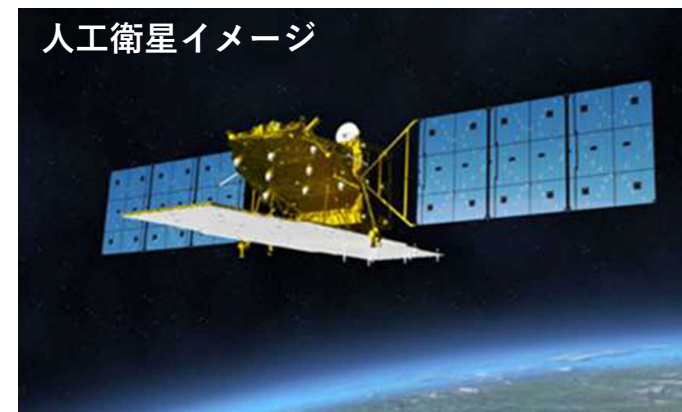
1億297万円

鉛給水管取替

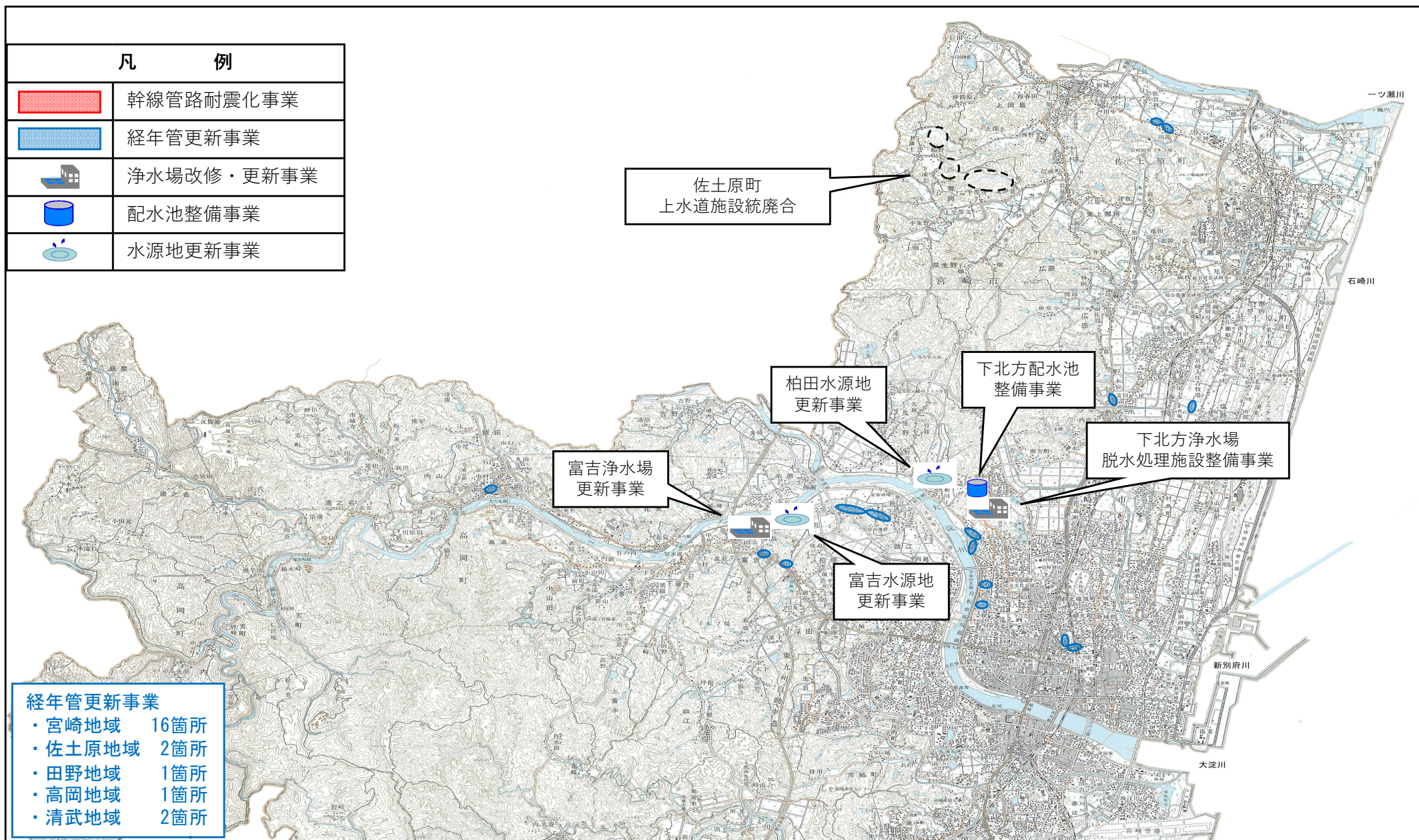
2,000万円

計 5億2,000万円

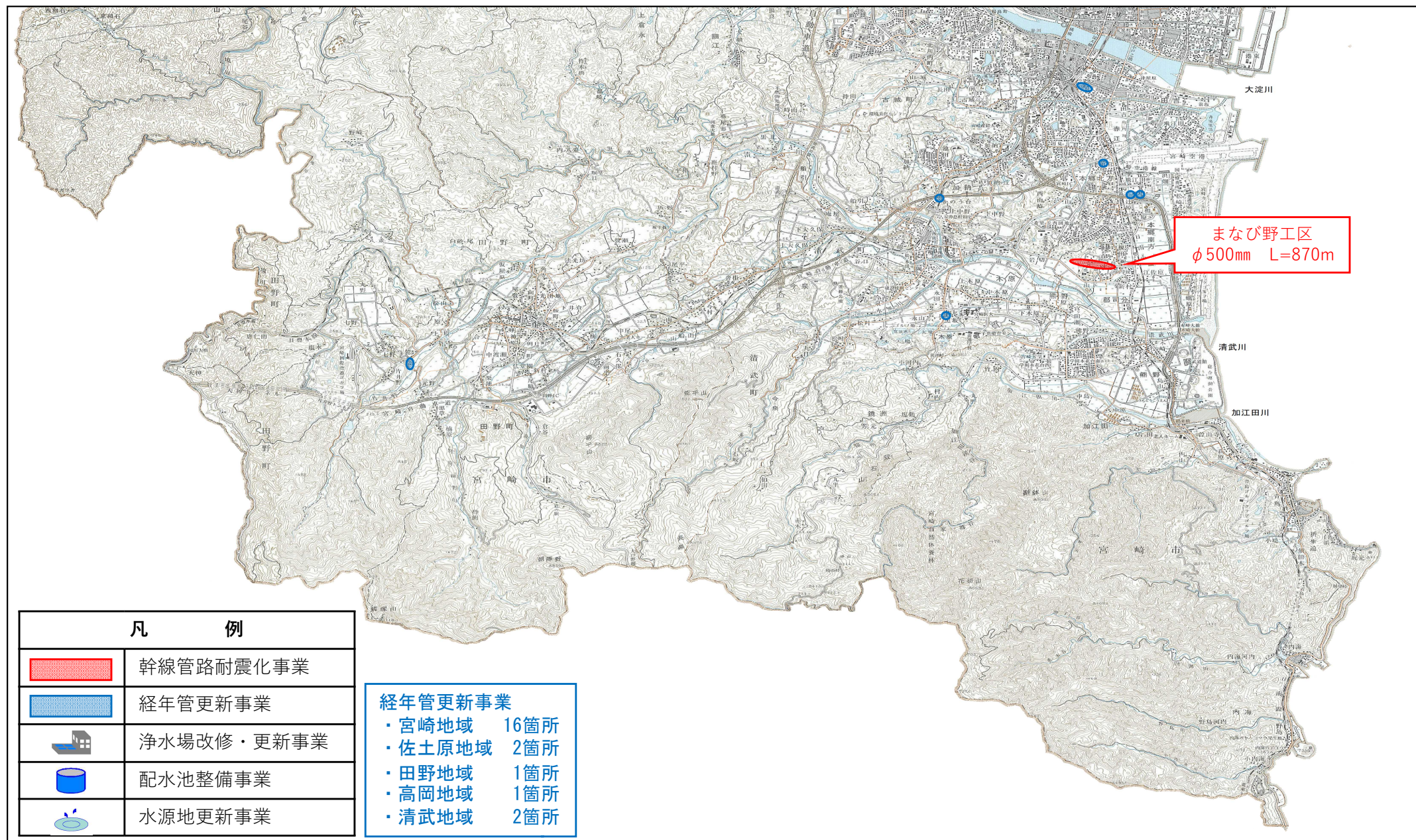
人工衛星イメージ



令和7年度 水道事業主要事業箇所図



令和7年度 水道事業主要事業箇所図



【水道事業】 主な実施事業

●料金センター等業務委託

持続

上下水道の使用開始・中止の受付、検針、料金の収納や滞納整理までの料金関連業務や局内のコールセンター業務等を行うため、「上下水道局料金センター」を設置し、包括的に民間へ業務委託を行い運営する。

委託期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

受託者：株式会社 宮崎衛生公社

5億7,666万円



●上水道施設運転管理業務委託

持続

水道の安定供給のため、下北方浄水場、富吉浄水場などの浄水施設や配水池、中継ポンプ所など市内全域121箇所の運転監視・点検・薬品調達管理を24時間体制で行う包括的民間委託を実施する。

委託期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

受託者：水 i n g A M株式会社 九州支店

4億8,532万円

令和7年度は、次期運転管理業務委託（令和9～13年度：5年間）に向けて、公募型プロポーザル（令和8年度）の入札参加に地元企業が参入することができるよう、仕様書や実施要領書、募集要綱などを改訂する業務委託を行う。

◆宮崎市上水道施設運転管理再構築検討業務委託

1,800万円



運転管理業務の様子
（富吉浄水場中央監視室）

【水道・公共下水道事業】 主な実施事業

●配水管・下水道管Web閲覧化及び図面閲覧窓口一本化

進化

D X

令和7年4月から配水管・下水道管のWeb閲覧を開始。

66万円

令和7年4月から図面閲覧窓口一本化を開始。

21万円

上下水道の本管図面の閲覧がインターネットで便利に



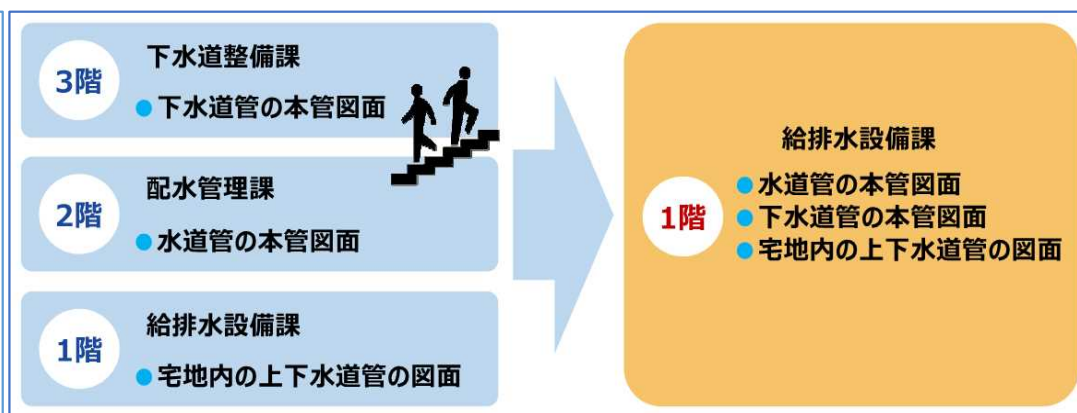
宮崎市地図情報システムから閲覧可能

閲覧できる図面

- ①水道管の本管図面
- ②下水道管の本管図面

※宅地内の水道管や下水道管については、個人情報を含みますので、これまでと同じく上下水道局での閲覧となります。

図面閲覧の窓口一本化



●上下水道料金管理システム更新業務委託【債務負担】

持続

現在のシステムを稼働させているOS（Windows Server 2016）の延長サポート期間が終了となることから更新を予定。新たなシステムをクラウド環境で構築する。令和8年10月稼働を目指す。

期 間：令和7年度から令和8年度まで

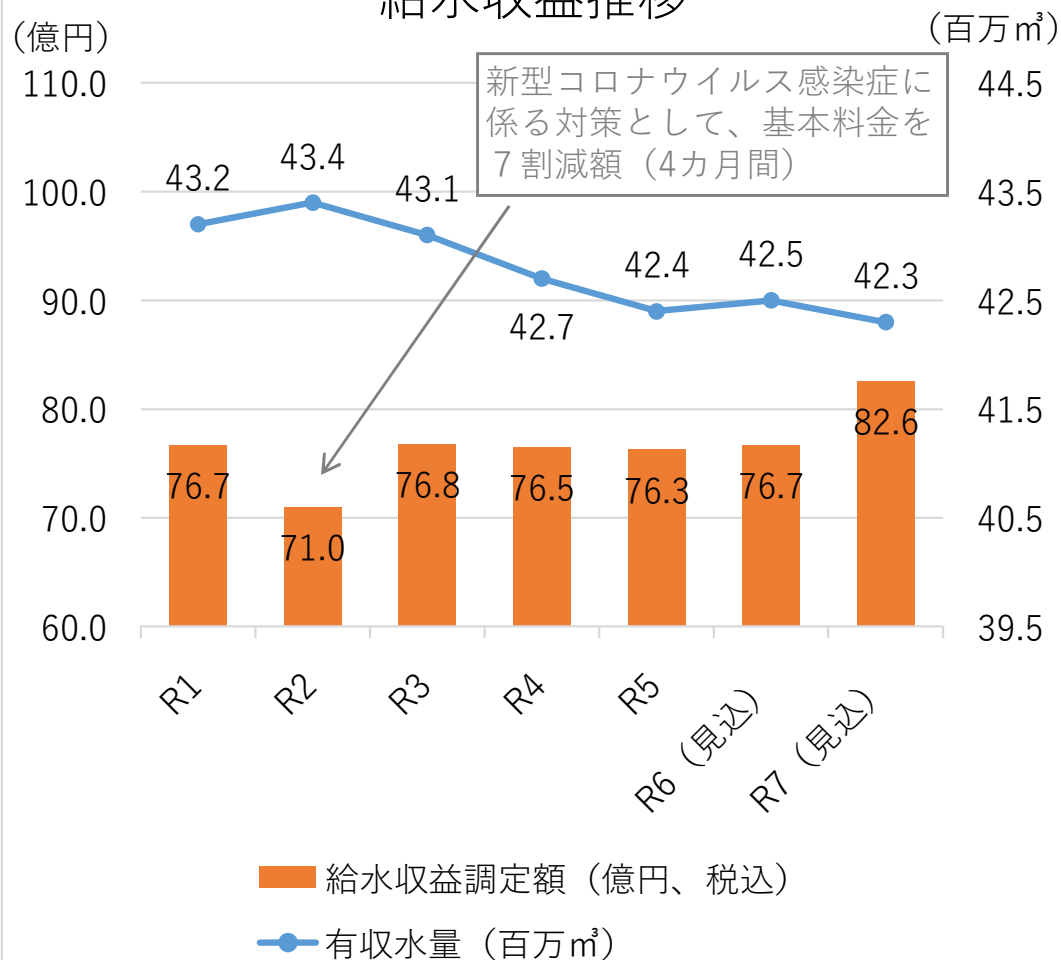
限度額：3億1,488万円

【水道事業】財政状況

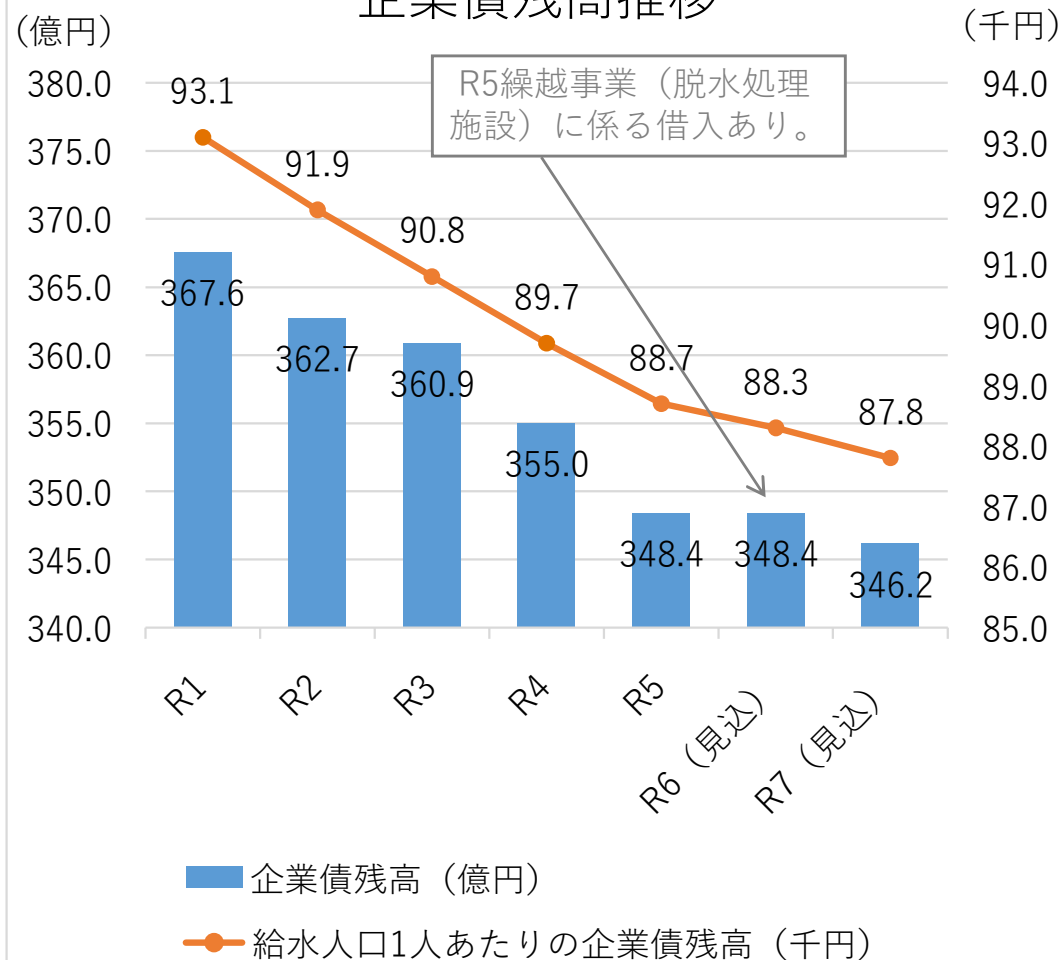
○水道料金改定に伴い、令和7年度の給水収益は増加する見込み。

○企業債残高及び給水人口1人あたりの企業債残高は減少していく見込み。

給水収益推移



企業債残高推移



【水道事業】みやざき水ビジョン 計画期間 R7-R16 主要成果指標

みやざき水ビジョンに掲げた成果指標について

当初予算の事業により、安全で強靱なライフラインの構築に向け、管路及び施設の耐震化に関する主要な成果指標は次のとおり進捗する見込み。

主要成果指標

(単位：％)

水ビジョン成果指標	R 6 見込	R 7 見込	R 1 6 目標
管路経年化率 (※低い方が良い) 水道管路の法定耐用年数に基づいた経年化状況を示し、低いほど老朽化が抑制されている。 (法定耐用年数超過管路延長／管路総延長)	33.9	36.0	53.4
基幹管路の耐震化率 導水管、送水管、配水本管(口径350mm以上)の耐震化状況を示す。 (基幹管路の耐震管延長／基幹管路総延長)	44.6	44.9	47.2
管路の耐震化率 管路の耐震化の進捗状況を示し、地震災害に対する水道システムの安全性信頼性を示す。 (耐震管延長／管路総延長)	19.8	20.2	23.5
配水池耐震施設率 配水施設の耐震化状況を示し、災害時においても安定的な水の供給ができるかを表した指標であり、配水池の耐震化や更新を行うことで値は高くなる。 (耐震化配水池容量／配水池総容量)	76.5	76.8	87.2

【公共下水道事業】 当初予算案の概要 対前年度比較

●収益的収支

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
収益的収入 A	10,878	11,079	▲201	▲1.8%
収益的支出 B	10,878	11,079	▲201	▲1.8%
差引 A－B	0	0	0	－

※収入と支出の額が同額となるよう調整（使用料で賄えない経費分を一般会計繰入金で補てん）

《主な増減理由》

収益的収入： 料金改定に伴い下水道使用料が増加するものの、他会計補助金等の減少により2億100万円減少。

収益的支出： 減価償却費が増加するものの、維持管理費や支払利息等の減少により2億100万円減少。

●資本的収支

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
資本的収入 A	6,989	8,726	▲1,737	▲19.9%
資本的支出 B	11,115	13,099	▲1,984	▲15.1%
差引 A－B	▲4,126	▲4,373	←（収支不足額は損益勘定留保資金等で補てん）	

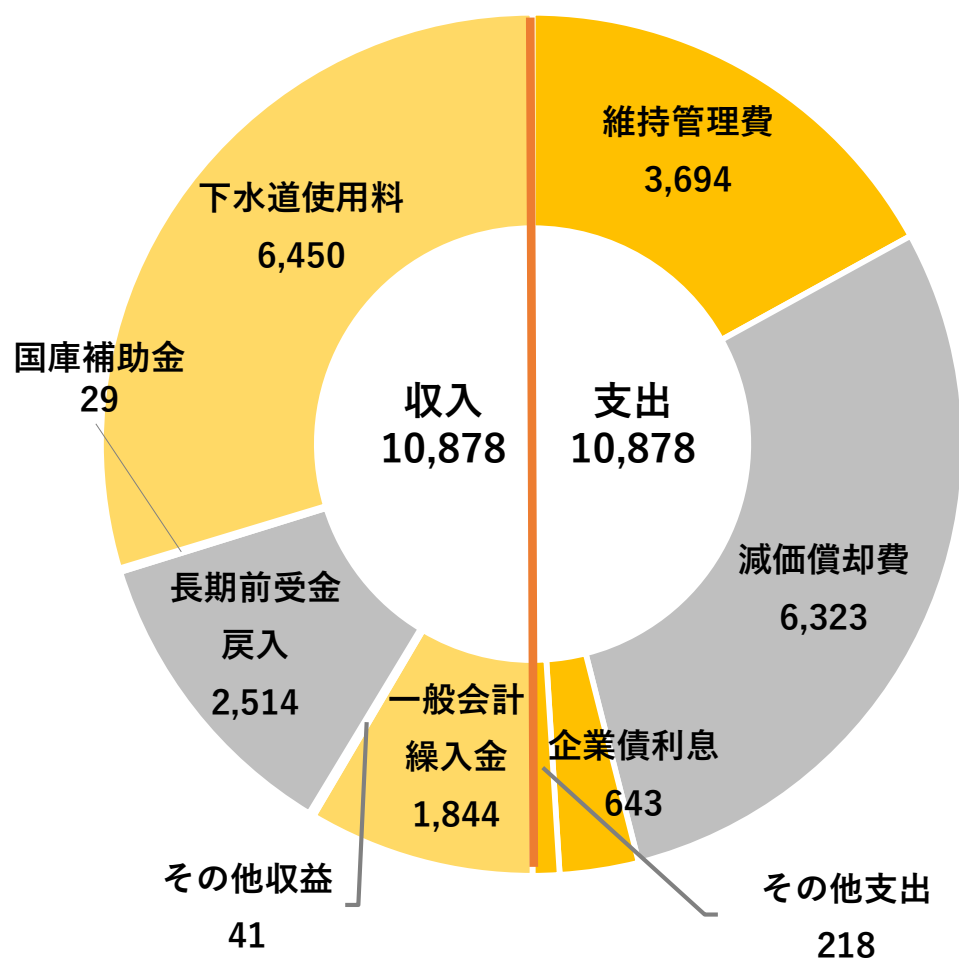
《主な増減理由》

資本的支出： 川原地区浸水対策事業が概ね完了したことに伴い、建設改良費が16億3,000万円減少することに加え、企業債償還金も減少するため19億8,400万円減少。

【公共下水道事業】収益的収支・資本的収支の内訳

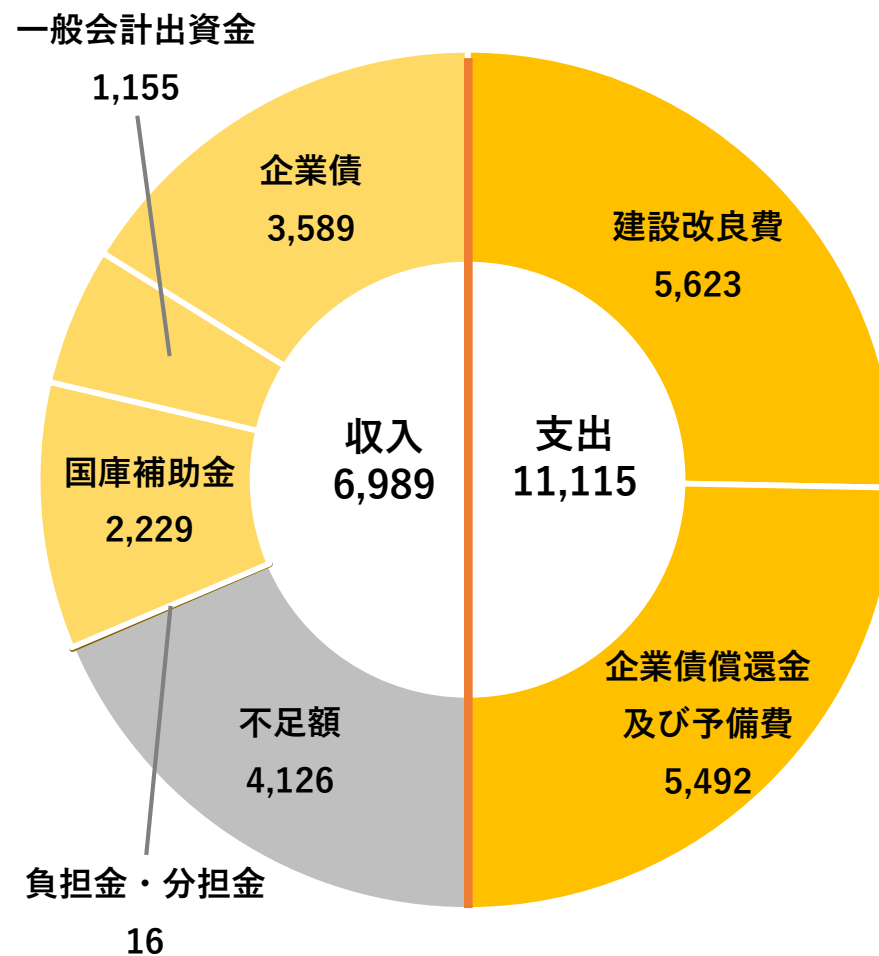
(単位：百万円)

収益的収支



収入と支出の額が同額となるよう調整

資本的収支



資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補てん

【公共下水道事業】 みやざき水ビジョン 計画期間R7-R16 主要事業

(単位：百万円)

事業名 (水ビジョン掲載期間)		事業内容 (期間中実施予定)	R7年度 予算額
①	耐震・耐津波化事業 (R7 ～ R16)	宮崎市下水道総合地震対策計画に基づいて、下水道施設の耐震・耐津波化を実施する。	1,282
②	改築・更新事業 (R7～ R16)	ストックマネジメントの手法に基づいて、下水道施設の点検・調査結果を踏まえた老朽化対策を実施する。	2,528
③	浸水対策事業 (R7 ～ R16)	浸水被害が発生している地区について、被害の軽減を図るため、有効な浸水被害軽減対策を実施する。	858
④	G X 事業 (R7 ～ R14)	「カーボンニュートラル地域モデル処理場計画」に位置付けた、省エネルギー策及び創エネルギー策を推進し、温室効果ガス発生量を抑制する。	296

【公共下水道事業】 主な実施事業

①耐震・耐津波化事業

強靱

重要施設から優先的に耐震・耐津波化を実施する。

管渠施設 7億8,000万円

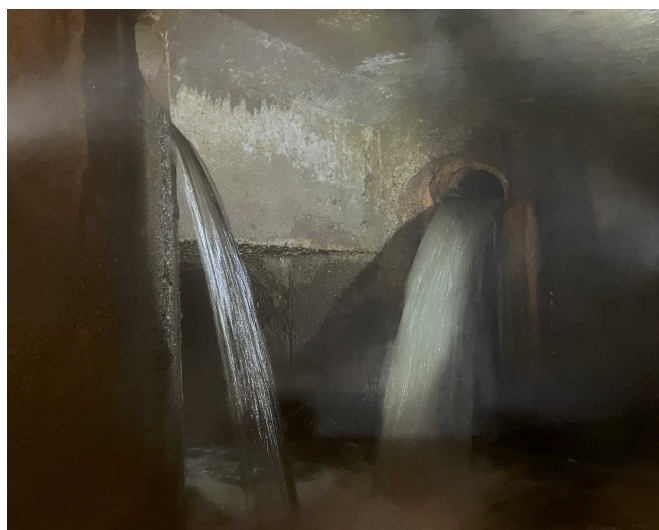
処理場施設 3億9,000万円

雨水施設 1億1,200万円

主な箇所等

宮崎処理区ほか、宮崎処理場ほか、国道10号

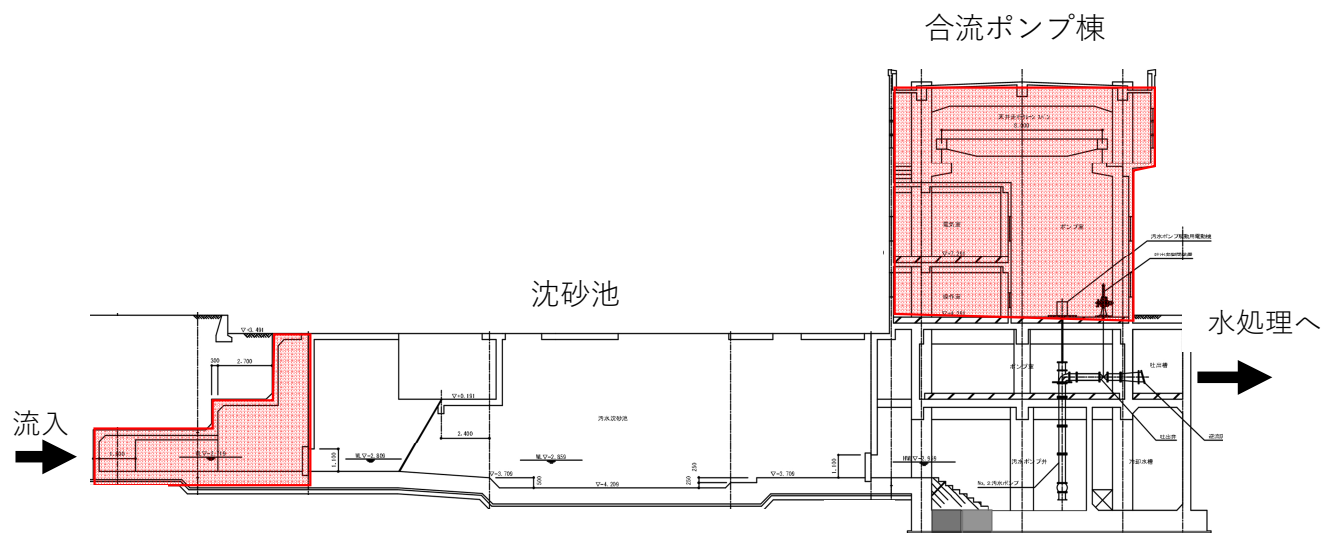
計 12億8,200万円



流入部状況写真



合流ポンプ棟耐震化工事（宮崎処理場）



令和7年度施工箇所図（合流ポンプ棟耐震化工事）

【公共下水道事業】 主な実施事業

②改築・更新事業

強靱

施設の状態を点検・監視しながら、適時、改築・更新を実施する。

管渠施設 7億5,800万円

処理場施設 15億7,720万円

雨水施設 1億9,230万円

主な箇所等

合流地区、宮崎処理場、本郷地区ほか

計 25億2,750万円

複数年度事業

大淀処理場中央監視制御設備改築事業 2億8,820万円

【継続費】 R7-R9 14億4,100万円

鶴島中継ポンプ場No.3ポンプ外改築工事 4,200万円

【債務負担】 R7-R8 2億6,900万円(限度額)

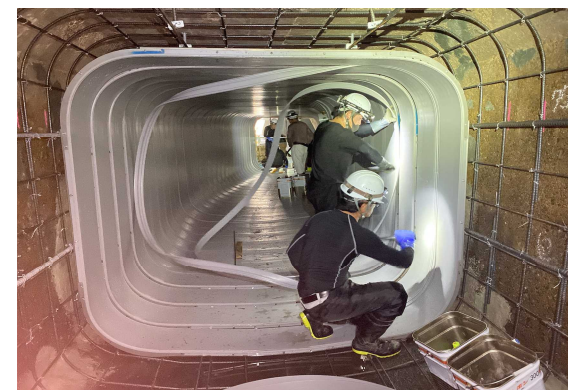
鶴島中継ポンプ場No.3ポンプ外改築に伴う
電気設備機能増設工事 2,430万円

【債務負担】 R7-R8 1億1,470万円 (限度額)

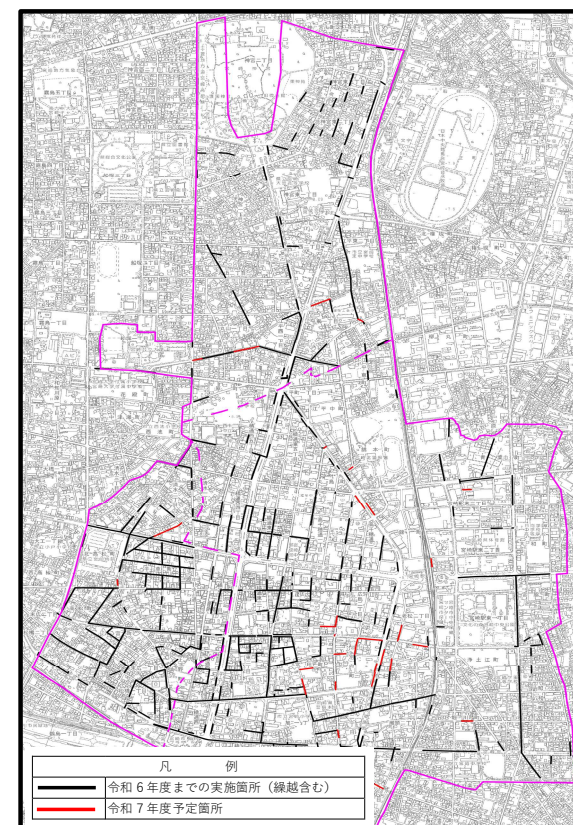
参考（収益的支出）

管路の点検・調査費 5,440万円

※点検・調査を計画的に実施する。



污水管改築状況



合流地区改築実施箇所

【公共下水道事業】 主な実施事業

③浸水対策事業

強靱

浸水被害軽減のためのポンプ場、雨水管渠の整備等を行う。

管渠施設 3,000万円

処理場施設 7,500万円

雨水施設 7億5,300万円

主な箇所等

合流地区、宮崎処理区、波島地区ほか

計 8億5,800万円



波島地区貯留管整備状況



大谷雨水ポンプ場耐水化工事



上田島地区（佐土原）排水路整備状況

【公共下水道事業】 主な実施事業

④GX事業（カーボンニュートラルの推進）

進化

G X

「2050年ゼロカーボンシティみやぎ」の実現に向け、省エネ・再エネ設備の導入や地域バイオマスを活用した創エネにより、カーボンニュートラルを推進する。

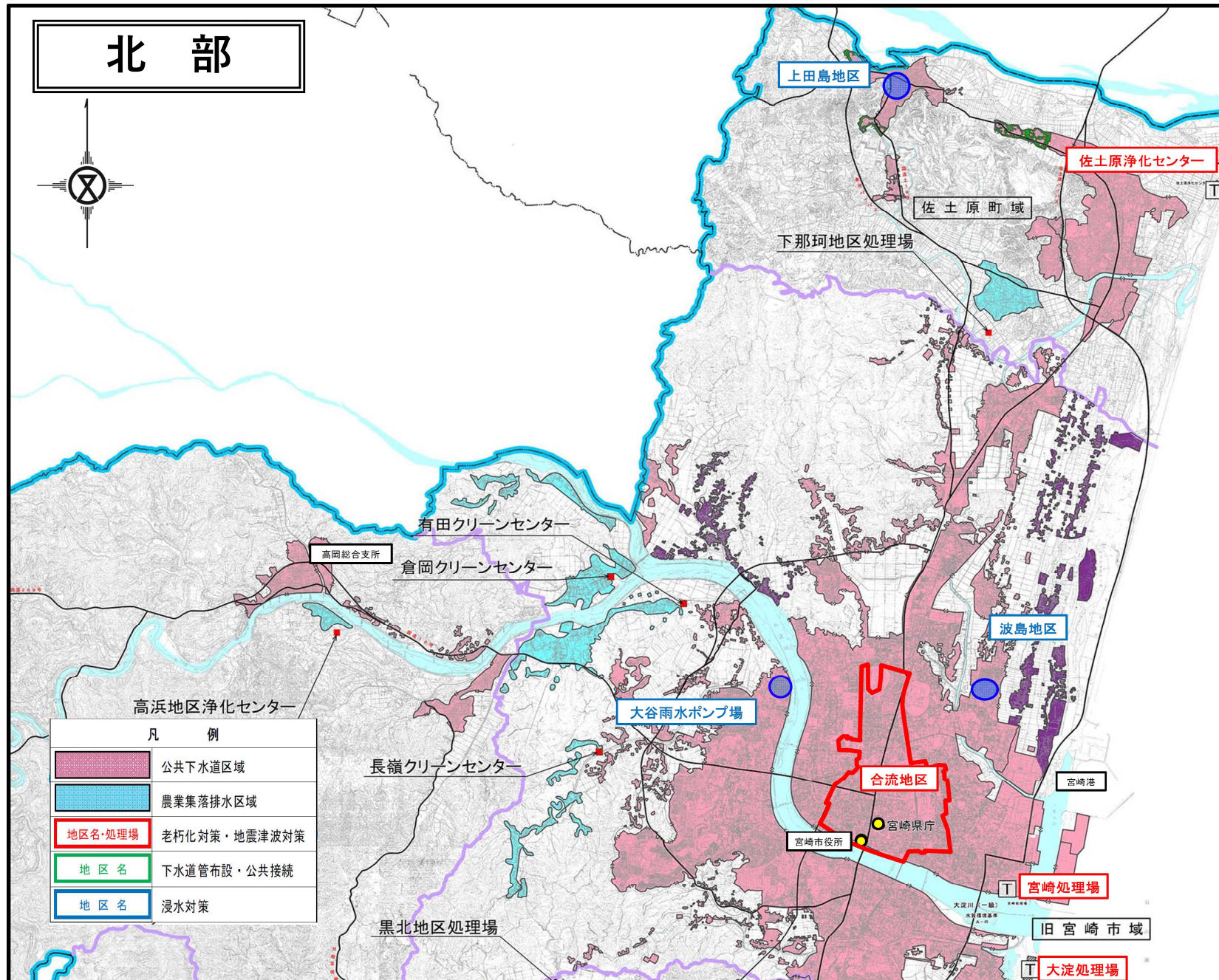
- 1 し尿受入前処理施設整備事業
造成工事、給水管移設工事 4,000万円
- 2 焼却炉代替施設整備事業
発注支援業務委託 2,500万円
【債務負担】 R7-R8 3,000万円(限度額)
- 3 スtockマネジメント支援事業等
主ポンプ機械設備改築工事 5,880万円
【債務負担】 R7-R8 2億8,650万円(限度額)
主ポンプ電気設備改築工事 1億1,800万円
【債務負担】 R7-R8 3億2,710万円(限度額)
管理本館照明設備改築工事等 5,440万円

計 2億9,620万円

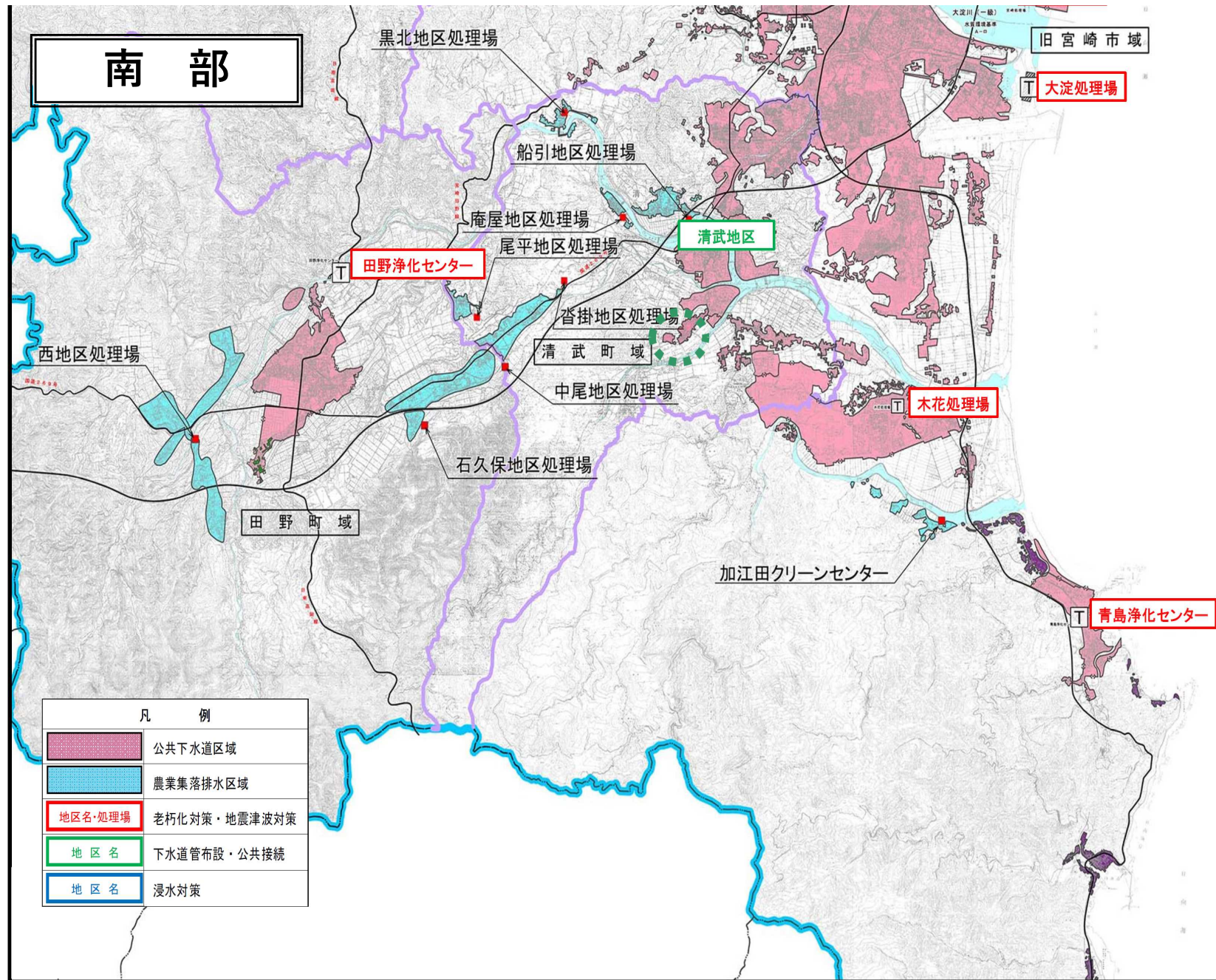
カーボンニュートラル地域モデル処理場計画（大淀処理場） 事業期間 R6～R11



令和7年度 公共下水道事業主要事業箇所図



令和7年度 公共下水道事業主要事業箇所図



【公共下水道事業】 主な実施事業

●宮崎処理場外維持管理業務委託

持続

宮崎処理場、大淀処理場、木花処理場、青島浄化センターとその関連施設の維持管理業務について包括的民間委託を実施。

委託期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

受託者：宮崎水管理 株式会社

12億333万円

次期委託：令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

受託者：公募型プロポーザル方式による選定

【債務負担】66億6,829万円

●佐土原浄化センター外維持管理業務委託

持続

佐土原浄化センターとその関連施設の維持管理業務について包括的民間委託を実施。

委託期間：令和6年4月1日から令和9年3月31日まで

受託者：有限会社 佐土原サニタリー

1億4,037万円

●田野・高岡・清武処理区下水道施設外維持管理業務委託

持続

田野浄化センターとその関連施設の維持管理業務について包括的民間委託を実施。

委託期間：令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

受託者：株式会社 産商

1億2,300万円



宮崎処理場



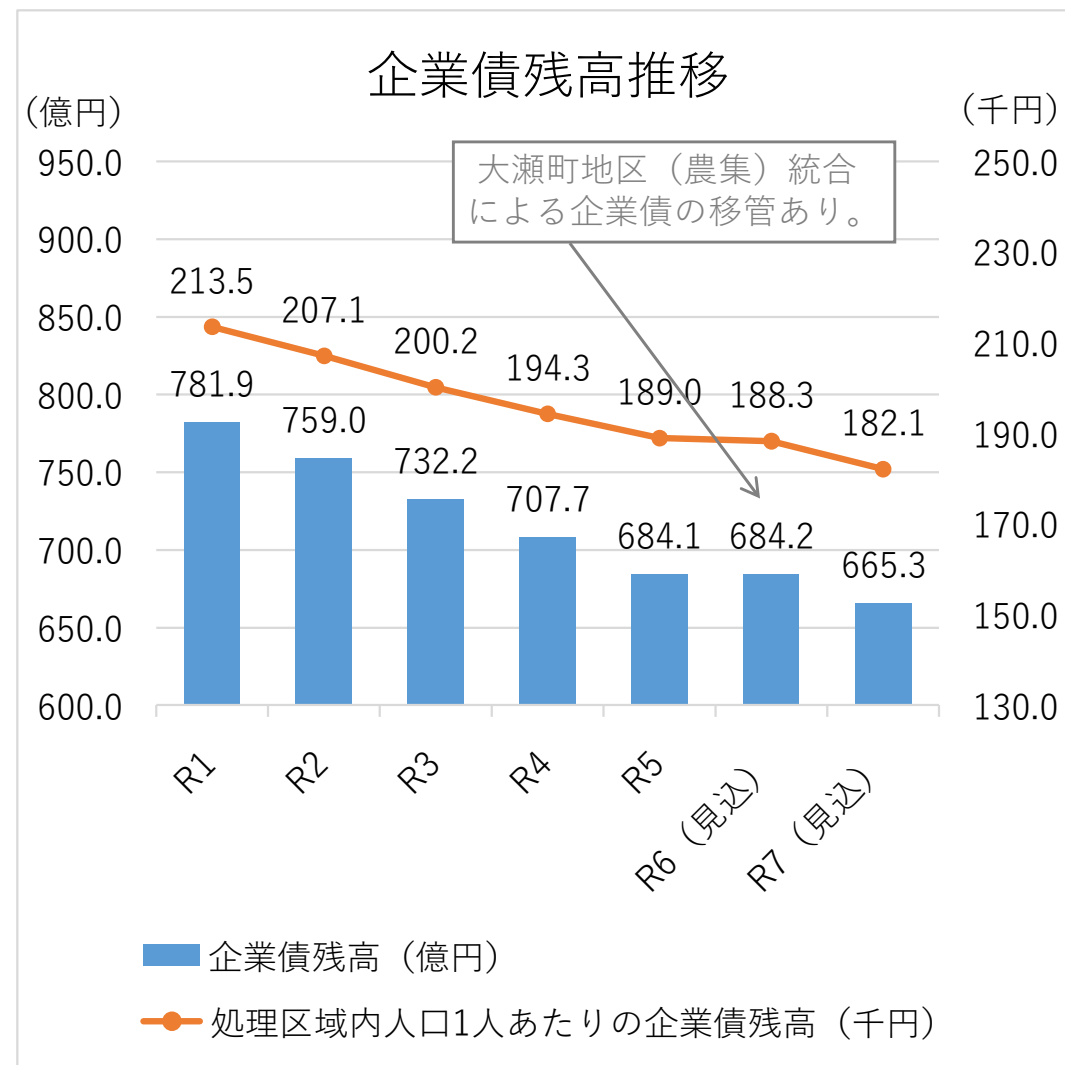
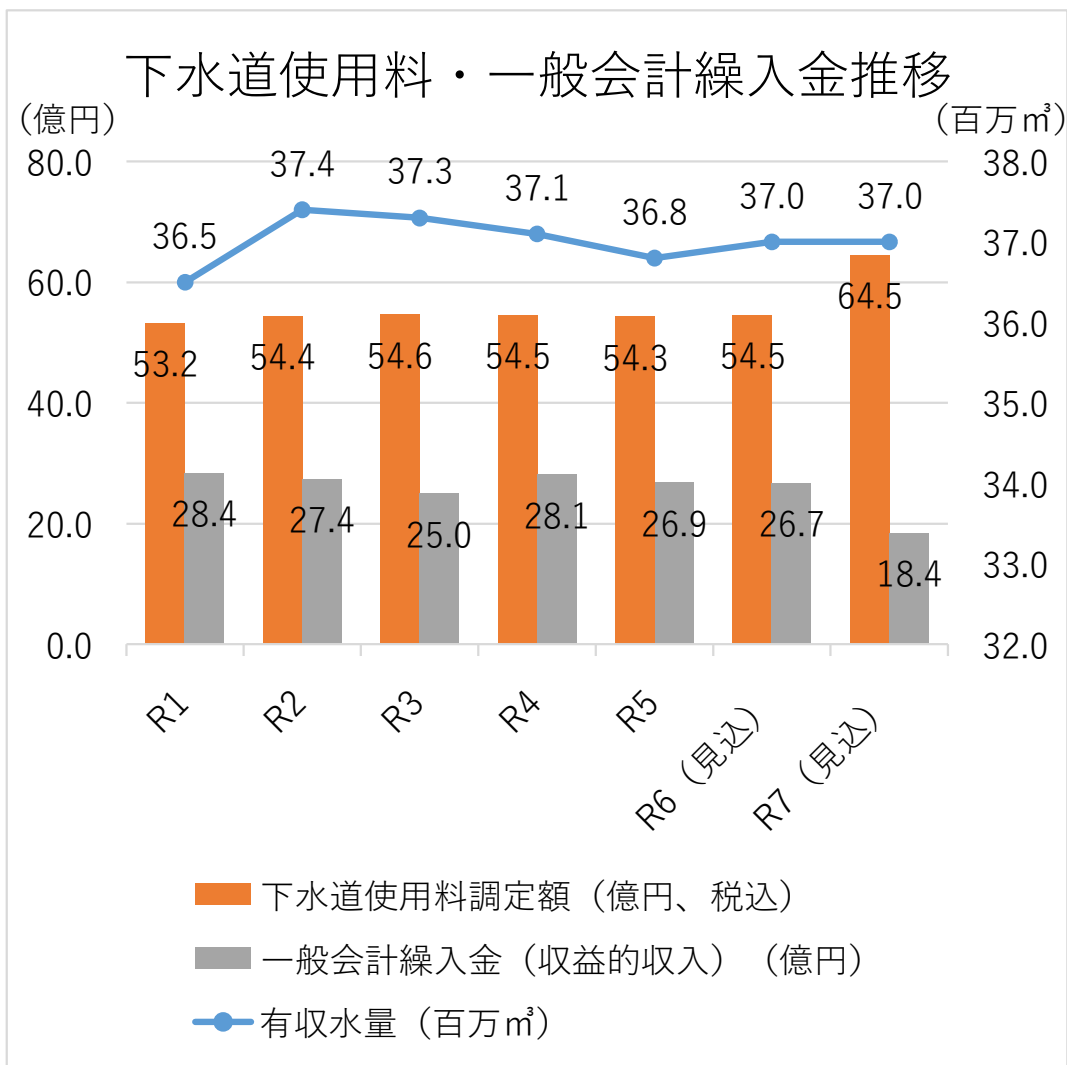
佐土原浄化センター



田野浄化センター

【公共下水道事業】財政状況

- 料金改定により使用料が増加する一方、一般会計繰入金が減少。
- 企業債残高及び処理区域内人口1人あたりの企業債残高も減少する見込み。



【公共下水道事業】みやざき水ビジョン 計画期間 R7-R16 主要成果指標

みやざき水ビジョンに掲げた成果指標について

当初予算の事業により、快適で良好な生活環境の整備に向け、下水道施設の老朽化対策や耐震化等に関する主要な成果指標は次のとおり進捗する見込み。

主要成果指標

(単位：％)

水ビジョン成果指標	R 6 見込	R 7 見込	R 1 6 目標
要改善老朽下水道管きょ改善率	—	65.4	86.9
点検・調査により改善が必要と判断した管きょの改善状況を表す。(管きょ改善実施延長／点検調査に基づき改築が必要とされた延長(令和6年度末時点))			
重要な幹線等の耐震化率	90.8	91.3	92.1
重要な幹線等とは、緊急輸送路、防災拠点や避難所と終末処理場をつなぐ道路、または、鉄道及び河川横断部等に埋設されている下水道管を指す。重要な幹線の延長に対する耐震性を有する延長の割合を表す。 (重要な幹線等のうち耐震性を有する延長／重要な幹線等の延長)			
水洗化率	94.9	95.0	97.6
処理区域内人口のうち、公共下水道に接続して汚水を処理している人口の割合を示す。 (公共下水道接続済人口／処理区域内人口)			
消化ガス利用率	90.5	90.5	92.0
当該年度に発生した消化ガス量における有効利用量の割合を表す。 (利用消化ガス量／発生消化ガス量)			